

リベラル鈴鹿 板倉 操 議員

本庁舎清掃業務の委託契約について

(質問) 4月から清掃業務の委託先が変わったことにより変化が目立ち、清掃員を見かけない、トイレ・階段・立体駐車場などの清掃が充分でない、されていないといった訴えを聞いたが、4カ月を経ても改善は見られなかった。毎日清掃すべきである立体駐車場のひどい汚れを指摘したときも、清掃されるまでに1週間以上かかった。清掃業務委託については、国土交通省の「建

築保全業務共通仕様書」があり、業務対象物件、業務概要、受注者の責務も記されている。仕様書に沿った受注者説明指導を、いつ、誰がしたのか。

また、年間の業務計画の作成、毎日の業務報告書の提出、責任者の常駐と見回り点検も受注者の責務だが、実行されていたとは思えない。委託したら終わりではない、本市はどのように考えているか。

(答弁) 当初は不慣れな面もあり、悪い部分もあったが、指導してよくなってきている。仕様書に沿った説明、指導を担当者が行っている。

その他の質問 ○地方交付税改革について

鈴鹿の風 平野 泰治 議員

地域づくり協議会による市民力の向上について

(質問) 総合計画2023の推進に欠かせない地域づくり協議会設立の進捗状況と、市長の今後の方針を聞く。

(答弁) 4月以降、市長を本部長とした地域づくり推進本部体制のもと、地域づくり支援職員制度もスタートさせ、全庁的に取り組んでおり、

当初の計画どおり、平成28～29年度で市内全地区に地域づくり協議会を設立、再編するとともに、協議会の設置条例を整備し、平成30～31年度で地域計画の策定、平成32年度には、地域予算制度を実施する。これらの制度設計のため、協議会の代表者や学識経験、地域の各種団体の代表者で構成する(仮称)地域づくり検討会議を今年度設置する。今後は、市長として先頭に立ち「住みよいまち・選ばれるまち」の実現を目指した、地域づくり体制を整えていく。

市民クラブ 市川 哲夫 議員

通学路の安全性について

(質問) 天栄中学校の通学路である、中ノ川の堤防道路の落下防止柵の必要性について。また、コンクリートのはがれなど、伊勢鉄道の橋脚の安全性について。

(答弁) 中ノ川の堤防道路は、平成28年4月から通学路に指定し、約60人の生徒が使用している。以前の通学路と比べ、安心して使える通学路に

なっているが、ガードレールなどの設備はなく、使用する生徒や地域住民が転落する危険性が危惧される。このようなことから、安全対策として、防護柵の整備を進めており、平成28年11月に完了する予定である。伊勢鉄道の橋脚については、天栄中学校から、生徒へ橋脚部分の注意喚起について指導するとともに、青色回転灯パトロール点検で確認を行っていく。また、伊勢鉄道株式会社への修繕要望についても検討していく。

その他の質問 ○地域づくり協議会推進について

市民クラブ 大西 克美 議員

不登校生徒の学力支援について

(質問) 小中学校の長期欠席児童生徒が平成27年度に469人いるが、その実態内訳について。

(答弁) 年度間(1年間)に30日以上欠席した児童生徒を、「病気」、「経済的理由」、「不登校」、「その他」で4分類し、この合計人数が「理由別長期欠席者数」として集計されている。

本市の平成27年度の不登校児童生徒数は277人

で、過去5年間の中で最も少なかったが、長期欠席者数は469人で、過去5年間の中で最も多くなっている。文部科学省の統計方法では、欠席理由が2つ以上あるときは主な理由を1つ選ぶとなっており、主たる理由は「不登校」ではないが、不登校要因を持っていると考えられる児童生徒も含めると、平成27年度の不登校要因のある長期欠席児童生徒は、およそ400人と考えられる。

その他の質問 ○給食費の未納問題について
○AEDの公共設置について